MACS 通信 - 2018年1月号 -

私たちは 幼児から高齢者までの豊かな生活空間を研究 実践するために松山市在住の異業種の女性たちで作った NPO 法人です。 私たちに共感し仲間に加わってくださる方たちの輪を少しでも広げる為に 私たちの活動をご紹介する JMACS 通信を季刊で発行しています。 皆さんのご意見 情報をお待ちしています。

【 年頭のご挨拶 】

温暖な愛媛県にも沢山の雪が降り、厳しい寒さで1 年の幕開けとなりました。寒暖の差が驚くほど大きかったり、災害を起こすような大雨や大雪が降ったりと、気候変動の激しさは、日常の私達の生活を脅かすようにまでなっています。このような事がさらにすすむとどうなるのかと、心配になってきますが、温暖化が原因と聞けば、私達にも出来ることがあるのではないかと、思いをいたします。日本中、世界中の人たちが、安心して暮らせるためには、いろいろな事に取り組んでいかねばならないのだなあと、今年も年の初めに考えたことでした。私どもも、自分達で出来る足下から、努力していきたいと思います。本年もよろしくご指導いただきますようよろしくお願いいたします。

【 地域密着型サービス外部評価事業 】

12月11~18日までの4日間、外部評価調査員養成研修を実施し、5名の調査員を養成しました。

JMACS は、生活者の視点と、「利用者にとってどうか」という利用する側の視点を大切にした評価調査を行なうことが特長です。



【 介護サービス情報公表制度 】

平成29年度の介護サービス情報公表制度調査は、今年も昨年9月より調査を開始しました。今年度は109事業所の調査を行いますが、事業所の理解も進み順調に進んでいます。調査結果は厚労省のHP

<u>http://www.kaigokensaku.jp/</u> でご覧いただけます。

【 遊友学舎の冬休み 】

12月26日から1月5日までの冬休み中も、多くの子ども達が遊友学舎にきました。お正月らしい行事として、初めての羽子板作りに挑戦!それぞれ気に入った絵を描いたり、和紙や千代紙を張ったりして作り、出来上がったら、外で羽根つきをして遊びました。冬休みの間中、みんな羽根つきを楽しんでいました。



新年には、恒例の石手寺への初詣や、3学期準備の雑巾作りもしました。雑巾作りも回を重ね、ミシンを使う子や手縫いで美しく仕上げた子もいて感心しました。また、1月に入り、指導員のミーティングを行いました。冬休みの反省と、子ども達の日常生活の中で気になるところを話し合い、子ども達が良い方向に成長していくよう、私達はどのように手助けをしたら良いのか、という事を意識しながら日々援助するということを再確認しました。

【 福祉サービス第三者評価事業 】

福祉サービス第三者評価事業は、高齢者部門でデイサービスの評価を初めて受託しました。介護事業所職員の方が、意欲的に業務に取り組んでおられる姿に感銘を受けました。保育所の評価とともに高齢者分野も第三者評価の取り組みが広がることを期待しています。事業所のサービス向上のための良い振り返りの機会となる事業です。ぜひご検討ください。

特定非営利活動法人 JMACS (ジェイマックス)